



株式会社 オプトラン

2025年12月期1Q連結決算説明会

内容 2025年12月期1Q連結概要と2Qガイダンス

2025年5月13日

将来の見通しに関する記述

□ 将来の見通しについて

本資料には、「将来の見通しに関する記述」が含まれています。この記述には、当社の事業と市場における予想される成長と傾向、業界の見通しと需要要因、当社の投資と成長戦略、新製品と新技術の開発、現在および今後の事業見通しに関するものが含まれます。今後、さまざまな外部要因・内部要因の変化により、予想・計画見通しと大きく異なる可能性があります、更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

□ 為替リスクについて

当社の主力製品である製造装置の輸出売上高は、米ドル建ての依存度が高いことから、米ドルの為替変動の影響を受けます。製造原価は、中華圏生産の依存度が高いことから、中国元の変動影響を受けます。業績見通しの為替前提は、過去の実績を踏まえて想定し、為替変動影響の軽減を目指しています。輸出先は中華圏の依存度が高いものの、最終需要先は世界的に広がっています。デカップリング・米中関税に備えて、生産・開発体制として日本、中華圏、ベトナム、インドなどでの拠点拡充を計画しています。

□ 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応方針として、中期経営目標において「営業利益率20%以上」、「ROE（自己資本利益率）10%以上」、「連結配当性向30%以上」、などを定めています。キャッシュ・アロケーションとして、株主価値の向上にむけて、安定配当と機動的な自己株式取得を行う想定にしております。加えて、持続的な成長を見据え、研究開発、設備投資やM&A・事業提携などを戦略的に実施することも計画しています。

□ 問い合わせ先

問い合わせ先は、E-mail: ir-info@optorun.co.jp

Webサイト: <https://www.optorun.co.jp>

□ 2025年12月期(今期)受注高の1Q実績と2Qのガイダンス

今期1Qの実質受注高は前四半期比12%増の86億円と前期2Qの54億円を底に四半期ベースで増加傾向にあり、今期2Qも出足が順調で同1Qと同等程度になる可能性があります。今期1Qの内訳は、EV/コネクテッドカー(自動車関連)が前四半期比54%増の33億円と受注高構成比39%と最大の貢献度になりました。加えてAIスマートフォン(スマホ関連)は前期4Qが低水準に留まりましたが、今期1Qが前四半期比8倍の19億円と回復し、今期2Qも新領域効果により同1Q比で増加することが想定されます。

□ 今期1Qの連結業績概要

今期1Q連結業績は前期2Q～3Qの低水準な受注高を受けて、売上高が前年比30%減の79億円、営業利益が同81%減の755百万円、経常利益が同83%減の740百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が同75%減の809百万円と減速。収益性の高いALD装置を中心とするAIスマートフォンの売上高が同81%減の14億円と低迷し、実質受注高増に伴う研究開発費増が営業利益圧迫に繋がりました。ALD装置除く光学薄膜装置(一時費用除く)の今期1Q粗利益率は経費削減で前期4Q比で改善しています。

□ 米国の相互関税の影響

米国の相互関税は2025年4月2日に発表され、同9日から国・地域ごとに設定された追加の「相互関税」が発動されています。当社は光学薄膜装置を製造・販売する企業であることから、相互関税に関する直接的な影響は少ないと判断されます。しかし、スマートフォンや自動車関連など最終需要の影響が顕在化するリスクがあります。さらに、最終製品の生産地域変化による装置納入地域の変化が起きると見られます。相互関税の影響による業績見直しが必要であれば、今期上期以降の連結決算時に公表予定。

□ 株主還元

当社は株主価値の向上に向けて、連結配当性向30%以上を前提とする安定配当と戦略的な自己株式取得を想定していますが、2025年2月17日から同3月17日まで期間において自己株式の公開買付けを実施しました。取得株式数は250万株(1株1,658円)、取得総額は41億4,500万円。当社の今期の年間1株当たり配当金は54円を計画しておりますが、今回の自己株式取得を含めると、今期の総還元性向は概ね100%になると判断しております。

受注高および業績実績とガイダンス



図表1: 受注高、業績及び1株当たり指標・財務指標(単位:百万円、円、%)

項目	決算期	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12	2025/12E	2024/12				2025/12		
											1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	Q/Q%	YoY%
受注高		52,527	39,821	36,062	28,606	35,435	43,124	24,080	32,345		11,136	7,301	4,192	9,716	7,700	-20.7	-30.9
受注高(実質)								20,316	28,841	+10%	9,552	5,368	6,232	7,690	8,645	12.4	-9.5
受注残高		44,170	39,228	32,468	23,583	28,126	36,947	24,219	24,159		24,058	25,979	21,659	24,159	23,954	-0.8	-0.4
売上高		33,386	44,763	42,822	37,491	30,892	34,304	36,807	32,406	38,000	11,298	5,380	8,511	7,217	7,905	9.5	-30.0
売上総利益		14,154	17,436	17,697	14,682	13,390	14,948	18,454	14,499		5,917	2,168	4,094	2,319	2,613	12.7	-55.8
研究開発費		2,467	3,103	3,173	3,151	3,065	3,410	4,329	3,397	3,500	908	1,029	657	803	921	14.7	1.4
営業利益		7,327	10,690	10,879	8,628	7,025	7,449	9,752	6,570	7,600	3,965	-23	2,377	251	756	200.6	-80.9
営業外収益		140	495	299	261	980	1,339	386	1,996		462	331	633	1,491	366	-75.4	-20.7
営業外費用		372	192	147	280	104	25	4,086	376		102	216	462	518	381	-26.3	274.1
経常利益		7,095	10,993	11,031	8,610	7,901	8,763	6,051	8,191	8,600	4,325	92	2,549	1,225	740	-39.6	-82.9
税前利益		7,127	10,748	11,488	8,678	8,773	9,405	5,998	8,185		4,321	92	2,547	1,225	739	-39.7	-82.9
法人税等		2,309	3,001	2,386	1,874	2,440	2,512	1,325	1,807		1,030	165	251	361	-33	-	-
親会社株主当期純利益		4,815	7,746	9,102	6,797	6,330	6,890	4,632	6,351	6,400	3,284	-110	2,267	911	809	-11.1	-75.4
1株当たり当期純利益		134.6	187.6	216.7	159.1	146.8	159.0	106.1	145.3	146.7	75.0	-2.6	51.5	21.5	19.3	-10.0	-74.2
1株当たり配当金		40.0	55.0	60.0	50.0	50.0	50.0	50.0	52.0	54.0	0.0	26.0	0.0	26.0	0.0	-	-
1株当たり純資産		552.4	677.2	821.1	919.0	1,066.0	1,199.1	1,285.3	1,403.3		1,343.9	1,388.5	1,347.0	1,403.3	1,345.6	-4.1	0.1
円/ドル(期末)		113.16	111.00	109.56	103.50	115.02	132.70	141.83	158.18	145.00	151.41	161.07	142.73	158.18	149.52	8.66	1.89
円/ドル(期中平均)		112.61	110.58	109.03	106.76	109.90	131.62	137.97	148.12	145.00	144.77	147.31	149.45	151.87	152.55	-0.68	-7.78
売上高総利益率		42.4	39.0	41.3	39.2	43.3	43.6	50.1	44.7		52.4	40.3	48.1	32.1	33.1	0.9	-19.3
売上高研究開発費率		7.4	6.9	7.4	8.4	9.9	9.9	11.8	10.5	9.2	8.0	19.1	7.7	11.1	11.6	0.5	3.6
売上高営業利益率		21.9	23.9	25.4	23.0	22.7	21.7	26.5	20.3	20.0	35.1	-0.4	27.9	3.5	9.6	6.1	-25.5
売上高経常利益率		21.3	24.6	25.8	23.0	25.6	25.5	16.4	25.3	22.6	38.3	1.7	29.9	17.0	9.4	-7.6	-28.9
法人税率		32.4	27.9	20.8	21.6	27.8	26.7	22.1	22.1		23.8	179.3	9.9	29.5	-4.4	-33.9	-28.3
売上高当期純利益率		14.4	17.3	21.3	18.1	20.5	20.1	12.6	19.6	16.8	29.1	-2.1	26.6	12.6	10.2	-2.4	-18.8
自己資本利益率		29.0	30.6	29.0	18.3	14.8	14.0	8.5	11.0	10.0 >	23.7	-0.8	15.6	6.3	5.6	-0.7	-18.1

注: 会計基準は日本基準、数値は百万円以下を四捨五入で算出、1株当たり当期純利益は親会社株主に帰属する数値、利益率の前年比%欄は前年比増減

貸借対照表およびキャッシュ・フロー計算書

図表2:貸借対照表及びキャッシュ・フロー計算書の概要(単位:百万円)

項目	決算期	2017/12	2018/12	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12	1Q	2024/12				2025/12
												2Q	3Q	4Q		1Q
資産の部																
現金及び預金		5,358	19,894	15,741	26,970	22,723	32,274	34,923	33,054	32,531	33,329	32,193	30,967	32,531		29,571
受取手形・売掛金		4,072	3,199	6,417	3,902	9,426	5,627	7,423	4,882	4,355	3,206	4,353	4,518	4,355		3,540
棚卸資産		8,577	25,108	24,487	15,173	11,147	12,855	20,430	17,989	15,763	16,213	18,670	16,804	15,763		14,687
流動資産		20,174	52,256	48,142	47,194	44,572	53,145	65,401	57,632	54,572	55,184	57,372	54,410	54,572		49,143
有形固定資産		1,262	2,863	2,843	2,764	3,194	4,527	8,835	11,407	14,152	11,874	13,450	13,300	14,152		13,273
無形固定資産		30	81	66	66	822	677	541	424	210	381	339	259	210		148
投資その他の資産		265	1,226	4,593	6,486	5,740	6,326	8,139	9,029	12,505	9,521	10,322	9,321	12,505		15,113
資産合計		21,730	56,426	55,644	56,509	54,327	64,675	82,916	78,491	81,440	76,959	81,482	77,289	81,440		77,677
負債の部																
支払手形・買掛金		3,486	7,303	1,653	2,735	1,703	3,246	4,785	1,284	1,083	2,326	1,848	1,657	1,083		1,793
短期有利子負債		3,432	9,193	757	510	489	472	414	406	414	403	402	402	414		414
契約負債		1,334	11,327	20,109	13,989	8,922	9,831	19,060	14,743	9,731	9,441	10,841	9,308	9,731		9,288
流動負債		9,580	32,038	25,923	19,826	13,655	17,057	28,400	19,097	14,766	14,812	16,895	14,630	14,766		13,753
繰延税金負債		536	978	1,251	1,079	642	1,181	1,929	2,021	2,625	2,174	2,385	2,239	2,625		2,450
長期有利子負債		615	433	234	165	81	16	5	8	4,649	8	6	5	4,649		4,463
純資産		10,634	22,607	28,063	34,819	39,515	46,084	52,159	56,916	59,002	59,510	61,810	60,022	59,002		56,585
自己資本		10,626	22,597	28,052	34,819	39,488	46,070	52,141	56,316	58,689	58,881	61,114	59,339	58,689		56,362
連結CF																
営業活動によるCF		-1,940	4,696	9,572	16,233	-535	10,686	8,561	3,180	5,050	-	上期	1,353	-	下期	-
有形固定資産取得		-316	-1,821	-381	-150	-760	-940	-4,380	-3,116	-3,115	-	-1,505	-	-1,610		-
投資活動によるCF		929	-2,768	-2,964	-2,432	-1,048	376	-4,396	-3,599	-7,701	-	-1,618	-	-6,083		-
フリーキャッシュ・フロー		-1,011	1,928	6,608	13,801	-1,583	11,061	4,165	-419	-2,651	-	-265	-	-2,386		-
自己株式取得		0.0	0.0	0.0	-0.1	-0.2	-0.2	-0.1	-0.1	-4,794	-	0.0	-	-4,794		-
配当金支払額		-238	-333	-1,633	-2,279	-2,543	-2,145	-2,164	-2,174	-3,334	-	-2,190	-	-1,144		-
財務活動によるCF		1,459	12,447	-10,054	-2,359	-2,467	-2,735	-2,173	-2,207	-3,807	-	-2,168	-	-1,638		-

注:数値は百万円以下を四捨五入で算出、受取手形・売掛金は貸倒引当金を考慮、有利子負債は借入金とリース債務の合計、契約負債は従来前受金で表記

事業領域別受注高および売上高の詳細

図表3: 事業領域別受注高及び売上高(単位: 百万円、円/ドル、%)

項目	年度・四半期	2023	2024	2023				2024				2025	構成比	Q/Q%	YoY%
				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q			
受注高															
光学		15,973	22,753	7,386	2,214	2,415	3,958	7,952	3,783	5,056	5,962	7,094	82.1	19.0	-10.8
AIスマートフォン		8,305	8,558	5,053	550	845	1,857	5,487	944	1,896	231	1,906	22.0	726.5	-65.3
EV/コネクテッドカー		3,274	5,939	846	421	544	1,463	1,299	1,452	1,022	2,166	3,337	38.6	54.1	156.9
光学部品		4,393	8,256	1,486	1,243	1,026	638	1,165	1,386	2,139	3,566	1,851	21.4	-48.1	58.8
半導体光学融合・電子デバイス		1,826	2,785	455	948	52	371	615	141	950	1,079	838	9.7	-22.3	36.3
パーツサービス・他		2,518	3,304	770	641	602	505	985	1,444	225	649	713	8.2	9.9	-27.7
受注高小計		20,316	28,841	8,610	3,802	3,069	4,835	9,552	5,368	6,232	7,690	8,645	100.0	12.4	-9.5
為替影響		3,764	3,504	953	2,283	1,229	-701	1,584	1,933	-2,040	2,026	-945		-	-
受注高合計		24,080	32,345	9,563	6,085	4,298	4,134	11,136	7,301	4,192	9,716	7,700		-20.7	-30.9
ALD装置比率 (%)		7%	10%	6%	0%	7%	16%	24%	4%	0%	3%	0%		-3%	-24%
新型装置比率 (%)		23%	39%	11%	29%	22%	39%	40%	28%	31%	51%	49%		-2%	9%
受注残高		24,219	24,159	37,447	31,670	27,960	24,219	24,058	25,979	21,659	24,159	23,954		-0.8	-0.4
売上高															
光学領域		31,116	28,523	7,148	10,694	6,056	7,218	10,243	4,272	7,781	6,227	5,455	69.0	-12.4	-46.7
AIスマートフォン		20,489	18,549	3,690	8,317	3,996	4,486	7,686	1,916	5,289	3,658	1,427	18.0	-61.0	-81.4
EV/コネクテッドカー		3,069	4,917	1,392	391	431	854	1,174	1,582	1,273	889	1,793	22.7	101.7	52.7
光学部品		7,558	5,056	2,066	1,986	1,629	1,877	1,383	774	1,219	1,681	2,235	28.3	33.0	61.6
半導体光学融合・電子デバイス		3,300	1,261	1,260	536	1,354	151	233	554	63	411	811	10.3	97.3	248.0
パーツサービス・他		2,391	2,622	655	632	599	505	822	554	667	578	1,639	20.7	183.5	99.4
売上高合計		36,807	32,406	9,063	11,862	8,009	7,874	11,298	5,380	8,511	7,217	7,905	100.0	9.5	-30.0
ALD装置比率 (%)		34%	29%	22%	47%	42%	20%	30%	19%	26%	36%	0%		-36%	-30%
新型装置比率 (%)		44%	42%	37%	53%	52%	32%	36%	32%	41%	59%	31%		-28%	-5%
売上高総利益率 (%)		50.1%	44.7%	50.5%	50.2%	53.9%	45.8%	52.4%	40.3%	48.1%	32.1%	33.1%		0.9%	-19.3%
売上高営業利益率 (%)		26.5%	20.3%	28.8%	34.1%	23.8%	15.0%	35.1%	-0.4%	27.9%	3.5%	9.6%		6.1%	-25.5%
円/ドル(期末換算)		141.83	158.18	133.53	144.99	149.58	141.83	151.41	161.07	142.73	158.18	149.52		8.66	1.89
円/ドル(期中平均)		137.97	148.12	134.75	134.24	140.93	141.95	144.77	147.31	149.45	151.87	152.55		-0.68	-7.78

注: 受注高の構成比、ALD比率、新型比率は為替影響を除くベース、為替、利益率、比率の前四半期比及び前年比の欄は増減

□ AIスマートフォン関連(スマホ)

世界のスマホ販売台数は2024年が前年比1.7%増の11億9,100万台から2025年が同2.4%増の12億2,000万台と当社では予想。相互関税の影響による欧米需要の減退が見込まれるが、堅調な新興国の需要と中国の消費促進策効果で相殺されると判断しています。消費促進策は販売価格が6,000元(約13万円)以下の端末を対象として、1端末当たり販売価格の15%の補助金を申請可能です。中期的にスマホ販売台数はAI機能搭載製品やフォダブル製品の増加で代替需要を喚起すると期待されます。

□ ADAS(先進運転支援システム)技術搭載のEV/コネクテッドカー関連(自動車)

自動車イメージセンサー市場はAI活用のADAS技術の普及により高成長が期待され、当社の光学薄膜装置の需要増大が見込まれる。ADAS関連市場は2024年の600万台から2025年には1,000~1,200万台に拡大すると予想。乗用車1台当たりのセンサー搭載個数は前年、今年とも平均12個ながら、センサーの性能は前年の4Mピクセルから今年には8Mピクセルと高精細化が進展する見通し。当社の同分野の受注高構成比は2023年が16%、2024年が20%、2025年1Qが39%に上昇しています。

□ AIデータセンター用光トランシーバ関連(光学部品領域に含む)

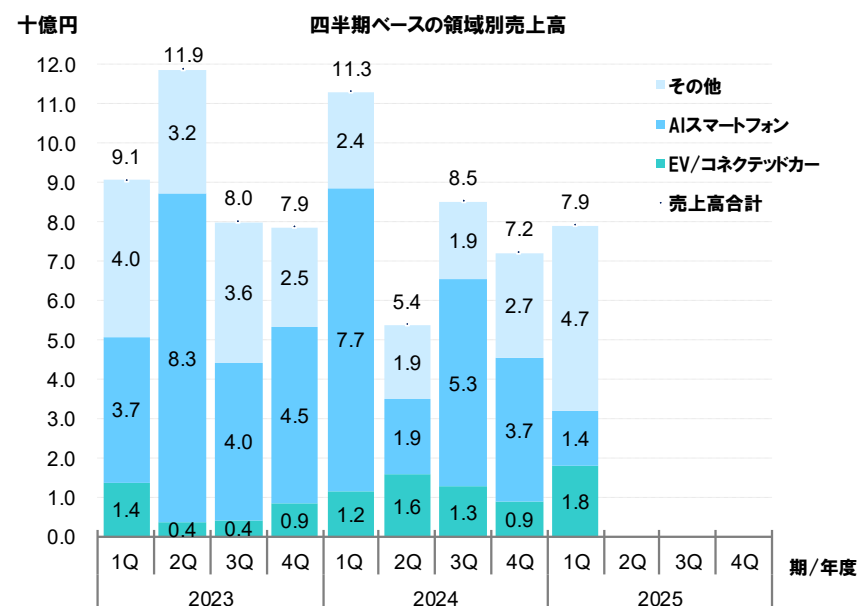
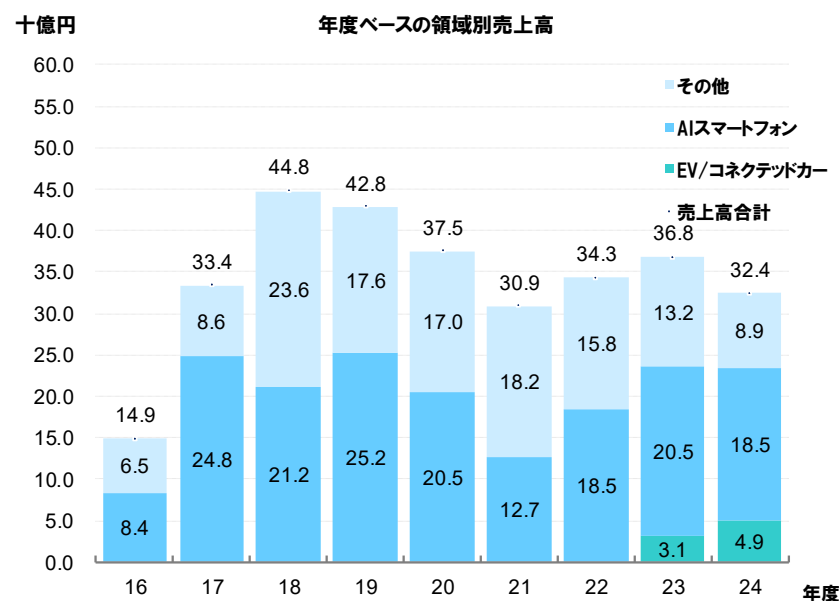
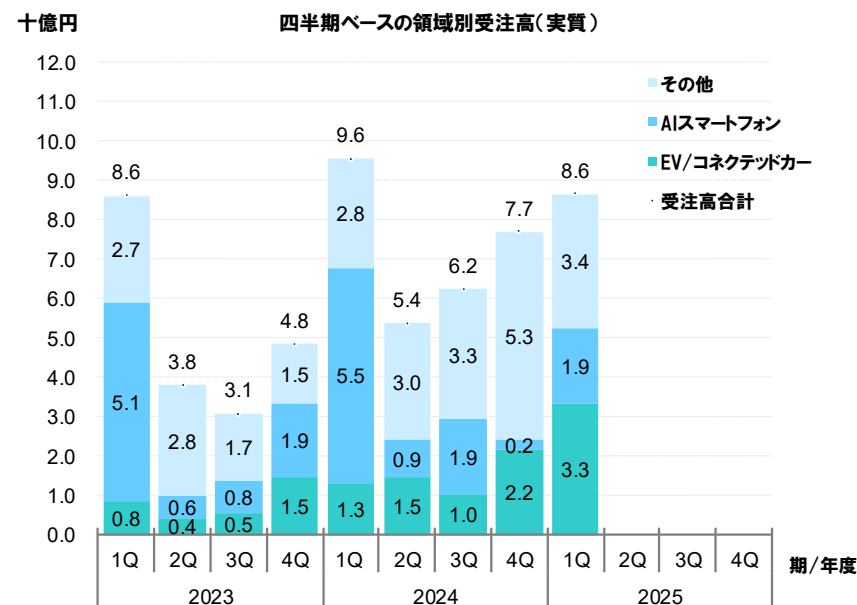
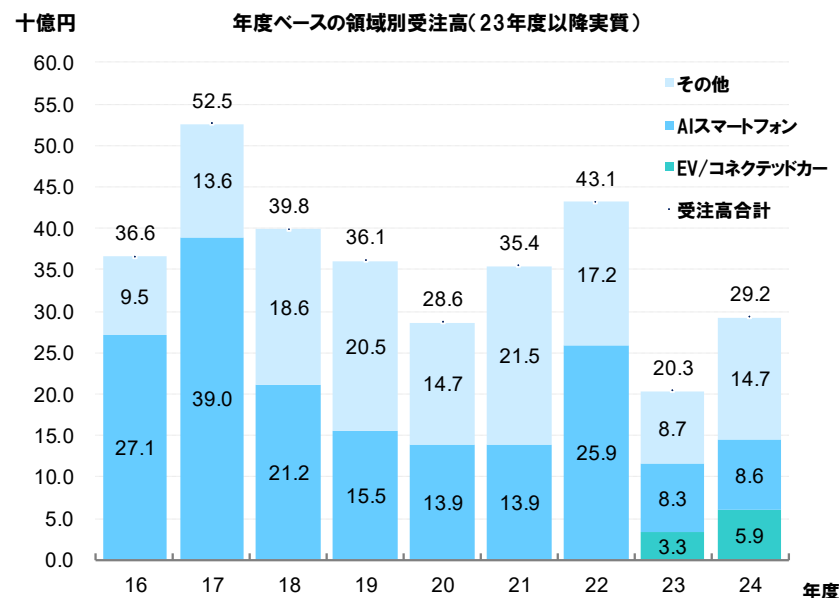
当社の祖業である光通信用バンドパスフィルタ向け光学薄膜装置がAIデータセンターの需要増から引き合いが増加。同分野ではセンター内のCWDM(粗波長分割多重)やセンター間のDWDM(高密度波長分割多重)向けに分類され、最近の需要は前者と後者の比率が4:1。同フィルタは特定波長を透過させ、それ以外の光をカットさせる光部品で、現在の800Gbps光トランシーバ製品では8個、次世代の1.6Gbps製品で16個搭載されると見られる。当社の前期受注高は数億円であったが、今期は倍増する見通し。

□ XR(クロスリアリティ、VR(仮想現実)/AR(拡張現実)/MR(複合現実)の総称)関連

高成長を期待されたXR市場は2024年が主力のVRヘッドセットを中心に台数ベースで減少した。しかし、2025年からはMicro LEDと導波路技術を搭載した軽量ARグラスがAI機能を搭載することで再び、市場の離陸にチャレンジすることになると見られる。当社は資本業務提携しているAIメカテックと共同で事業運営しているナノリソティックスにおいて、XR市場の新製品開発のサポートに尽力している。当社ではXRグラスの新製品が個人・法人共に新市場が形成されることを期待している。

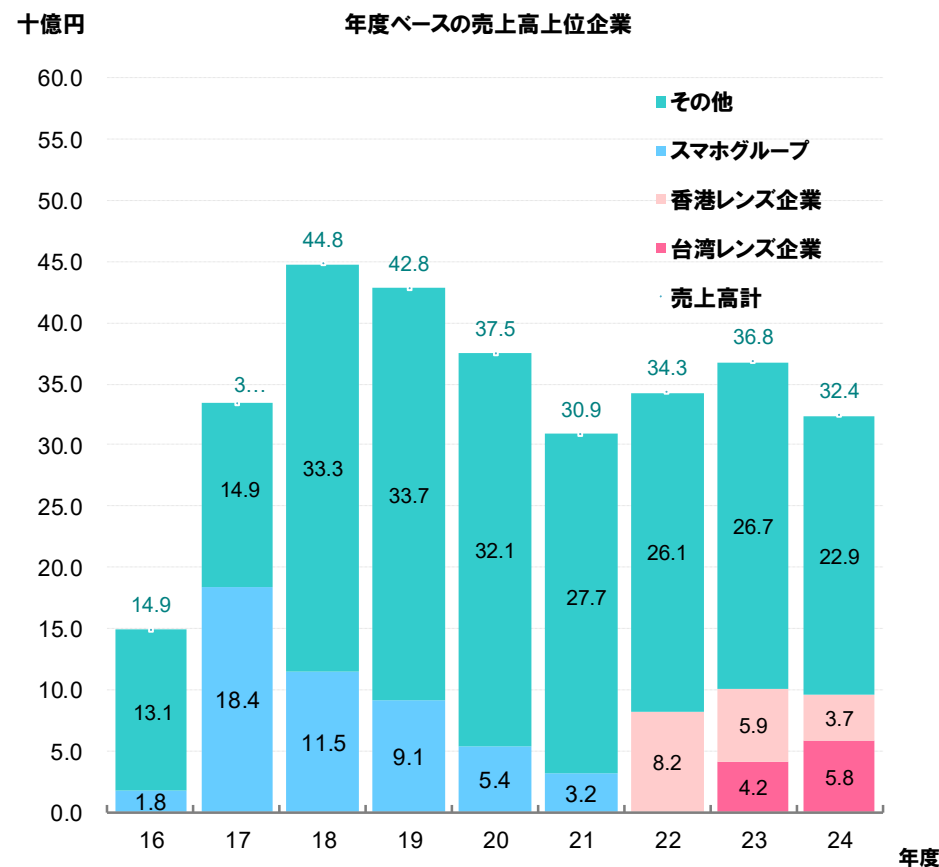
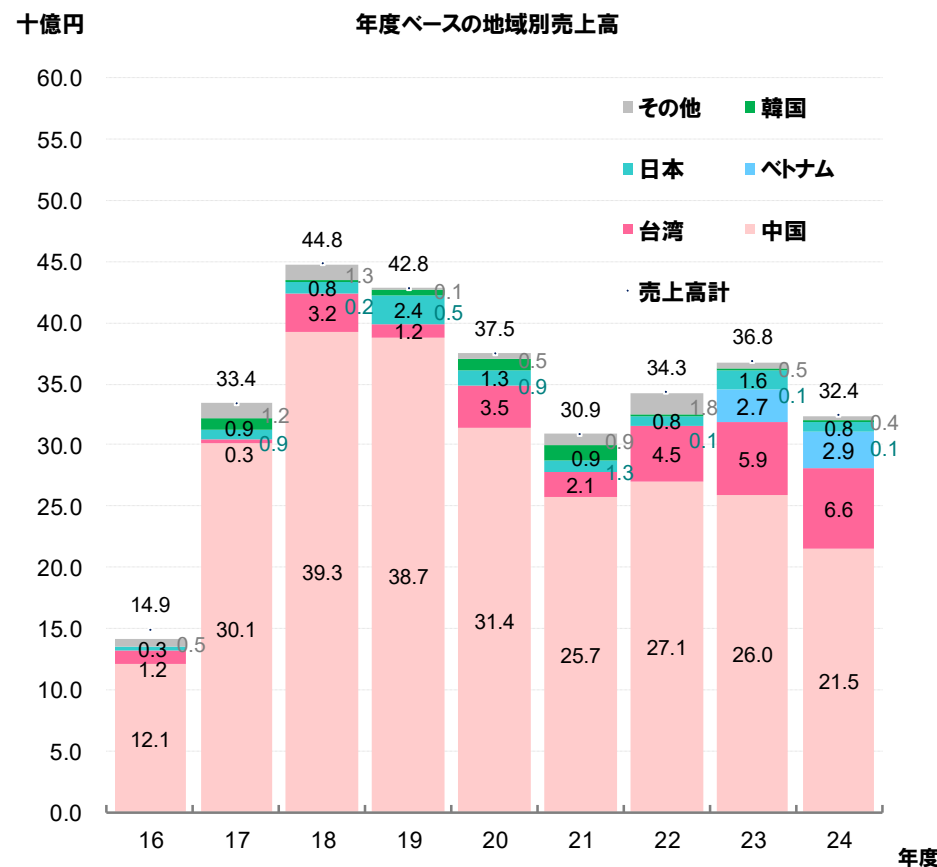
受注高はEV/コネクテッドカーが拡大傾向、AIスマートフォンが底打ち

図表4:領域別受注高と売上高



分散化する地域別売上高、相互関税で更に分散化する可能性

図表5: 地域別売上高および売上高上位企業の売上高

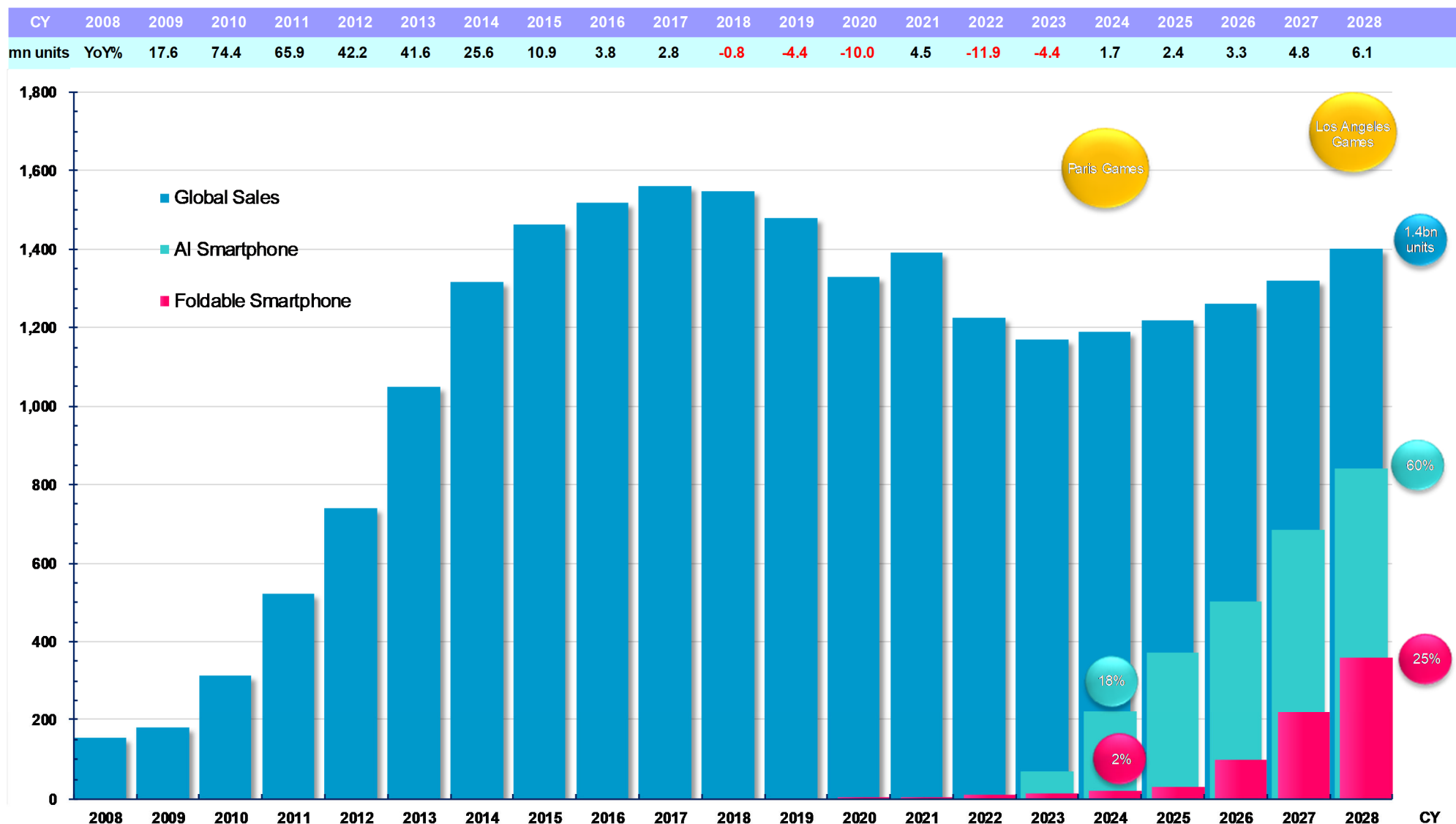


注: 売上高上位とは、売上高構成比10%以上を示す、なお、領域別分類である売上高の光学領域には、AIスマートフォン、EV/コネクテッドカー、光学部品(ミラーレスカメラ用レンズ、光トランシーバ用光部品)が含まれ、半導体光学融合領域は光電子、イメージセンサー、空間コンピュータ、電子デバイス領域はグリーンエネルギー、通信デバイス、MEMSデバイスを含んでいる、パーツサービス・他は主に消耗品・改造が該当する

出所: 有価証券報告書

スマートフォン市場はAI機能搭載製品やフォルダブル製品で需要を喚起へ

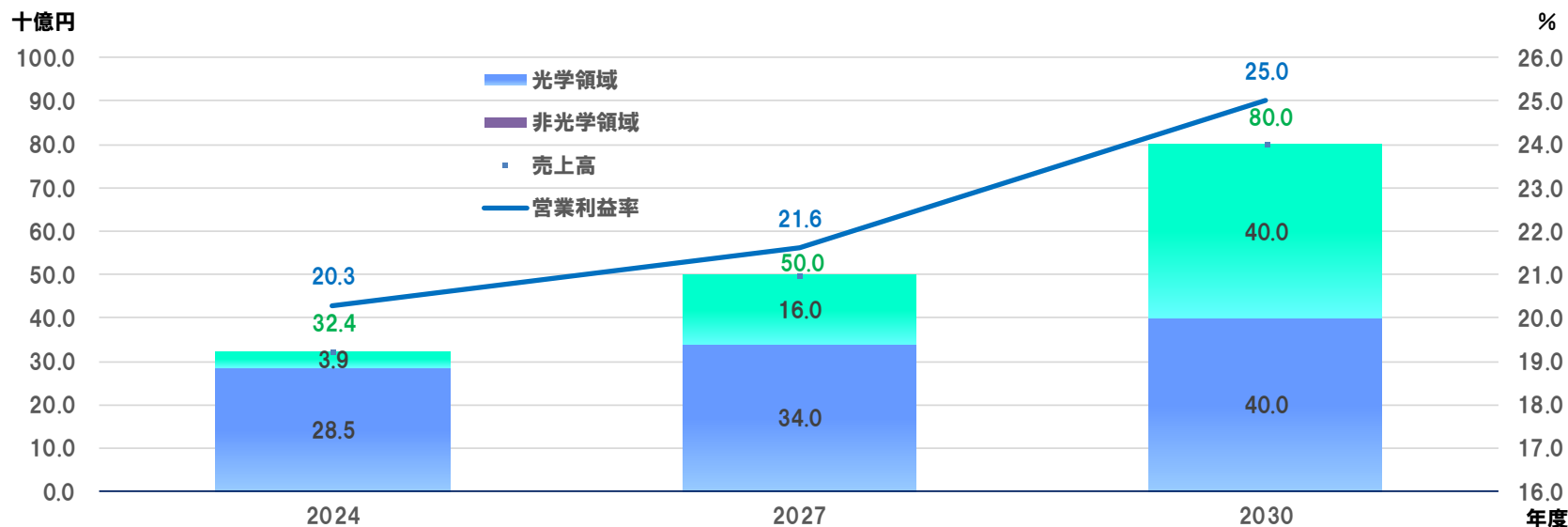
図表6: 世界のスマートフォンの販売台数と前年比、AIスマートフォン及びフォルダブルスマートフォンの構成比



出所: 調査会社資料から作成、予想は当社

中期経営目標と長期経営ビジョン

図表7: 中期経営目標と長期経営ビジョン



□ 中期経営目標と長期経営ビジョンの骨子

中期経営目標は2027/12期業績を売上高500億円、営業利益108億円(営業利益率21.6%)、経常利益118億円、親会社株主に帰属する当期純利益84億円、ROE12%を予想。1株当たり配当金は連結配当性向30%以上の計画。為替前提は145円/ドル、21円/人民元。売上高の内訳は、光学領域340億円(2024/12期285億円)、非光学領域160億円(同39億円)の予想。長期経営ビジョンは新規ビジネスの創出で2030/12期に売上高800億円、営業利益率25%、非光学領域の売上高構成比約50%を想定。

□ キャッシュ・アロケーション

当社は株主価値の向上に向けて、連結配当性向30%以上を前提とする安定配当と機動的・戦略的な自己株式取得を検討しております。加えて、持続的な成長を見据え、研究開発、設備投資やM&A・事業提携などを戦略的に実施する予定です。新型装置では、AI搭載のスマートフォン関連、EV/コネクテッドカー向けカメラ・センサの受注高増加を予想。さらに、データセンター用光トランシーバ向けWDM(波長多重装置、CWDMおよびDWDM)関連の需要急増、空間コンピュータ向けAR・VR関連も需要離陸が期待されます。

キャッシュ・アロケーションは研究開発、戦略投資、M&A及び株主還元を重視

図表8: キャッシュ・アロケーション(3年間累計)

キャッシュ・イン



キャッシュ・アウト



注: 日本拠点は鶴ヶ島工場の充実に加え、川越工場の再構築、中華圏では光馳半導体の工場拡張、インド拠点の始動を想定

設備投資・研究開発費計画

図表9:設備投資・減価償却費・研究開発費

日本本社 鶴ヶ島



半導体技術 上海



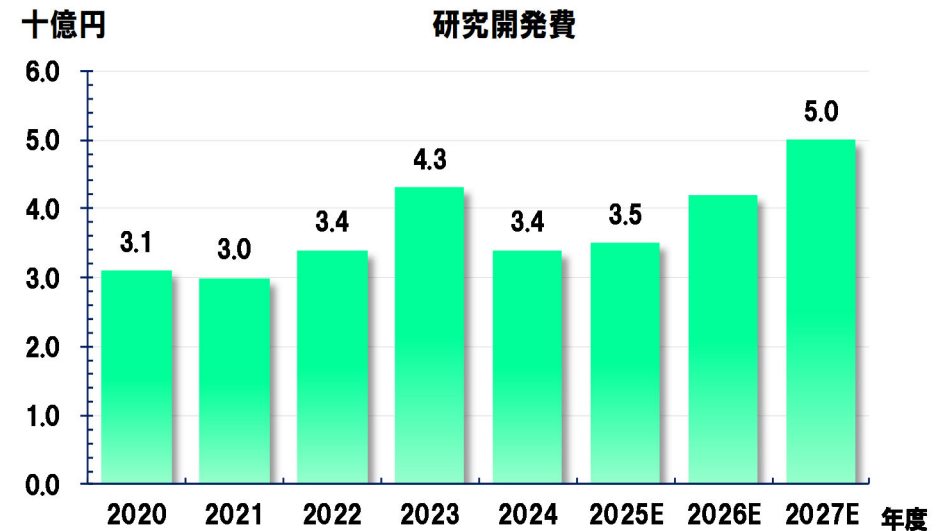
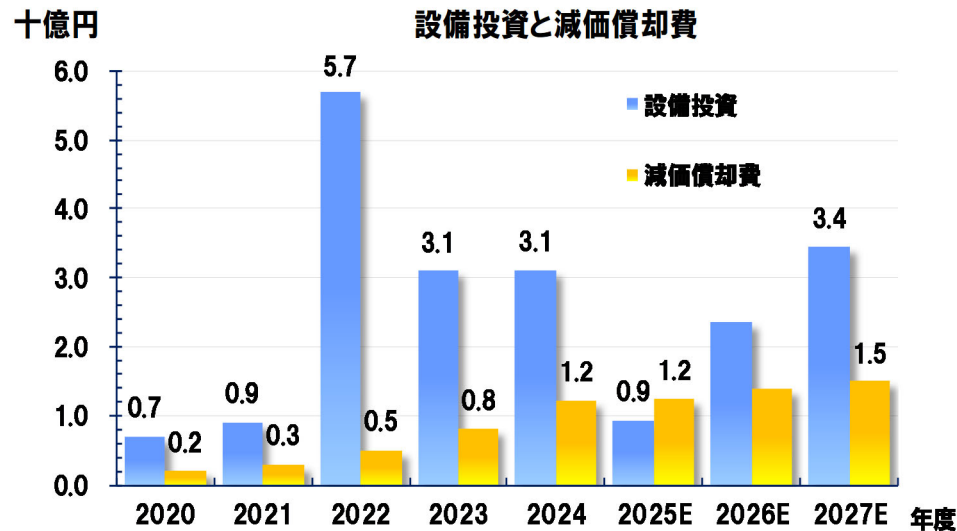
ベトナム ハノイ近郊



- 半導体光学・電子デバイス等、先端分野研究開発拠点、2024年4月に稼働。隣接する川越工場の再構築を検討中。

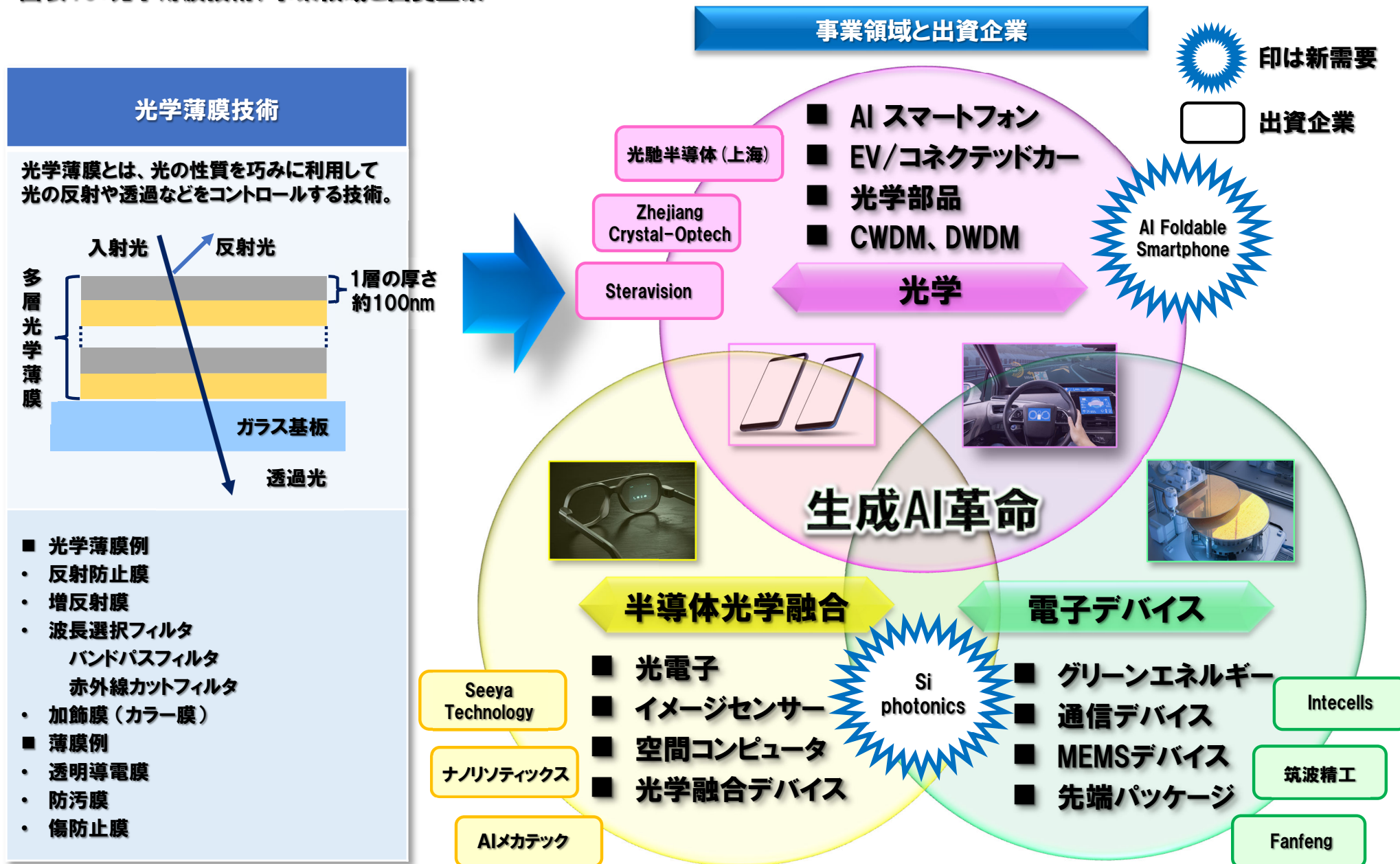
- ALD装置等の新技術装置の生産・研究開発拠点、2024年1月に稼働。光馳半導体の新工場を中期的に建設へ。

- 装置設計・東南アジアの顧客への装置据付・保守修理、部品加工販売 2023年12月に稼働。今後拡充を検討。



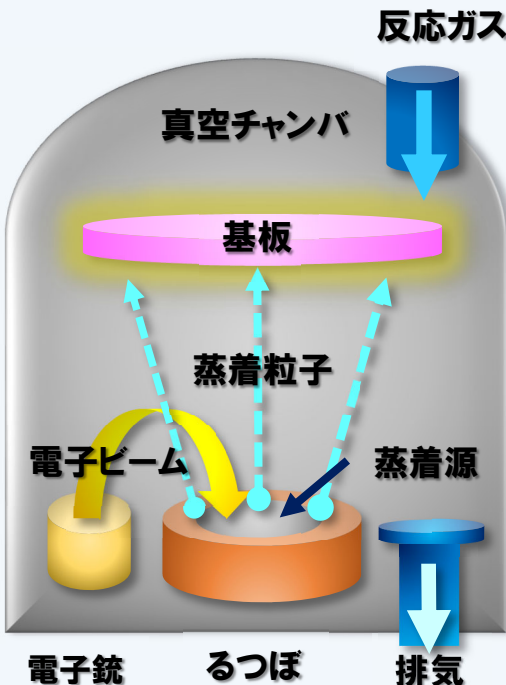
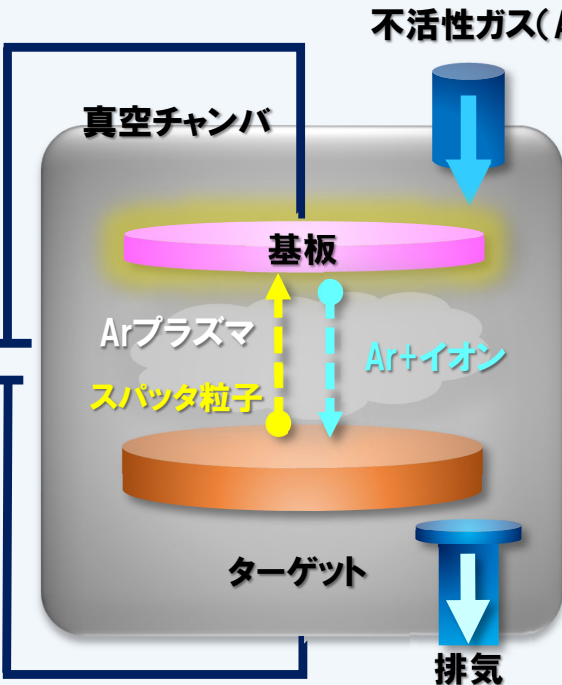
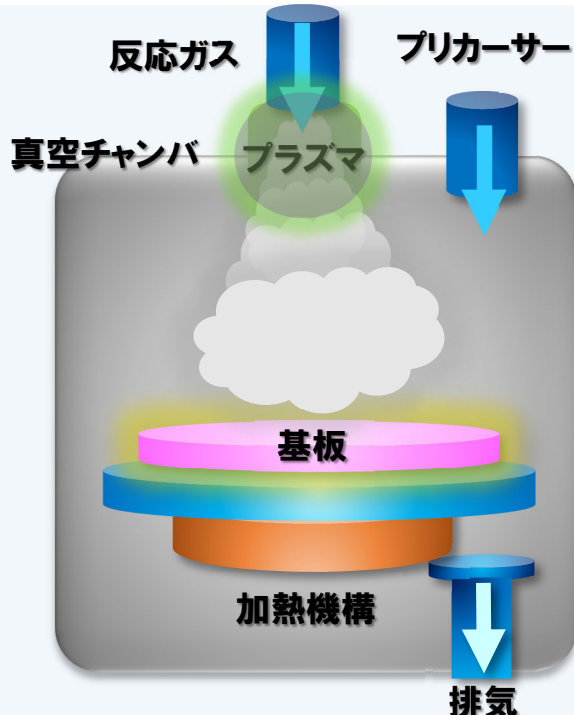
光学薄膜技術、事業領域と出資企業

図表10: 光学薄膜技術、事業領域と出資企業



光学薄膜装置と仕組み

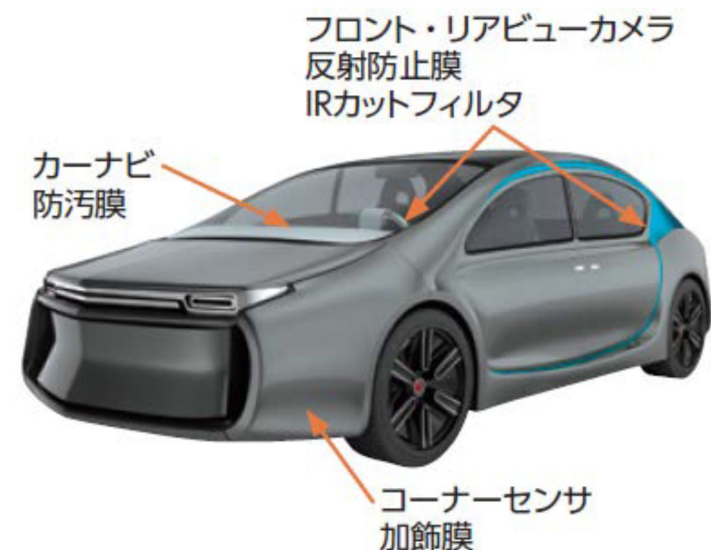
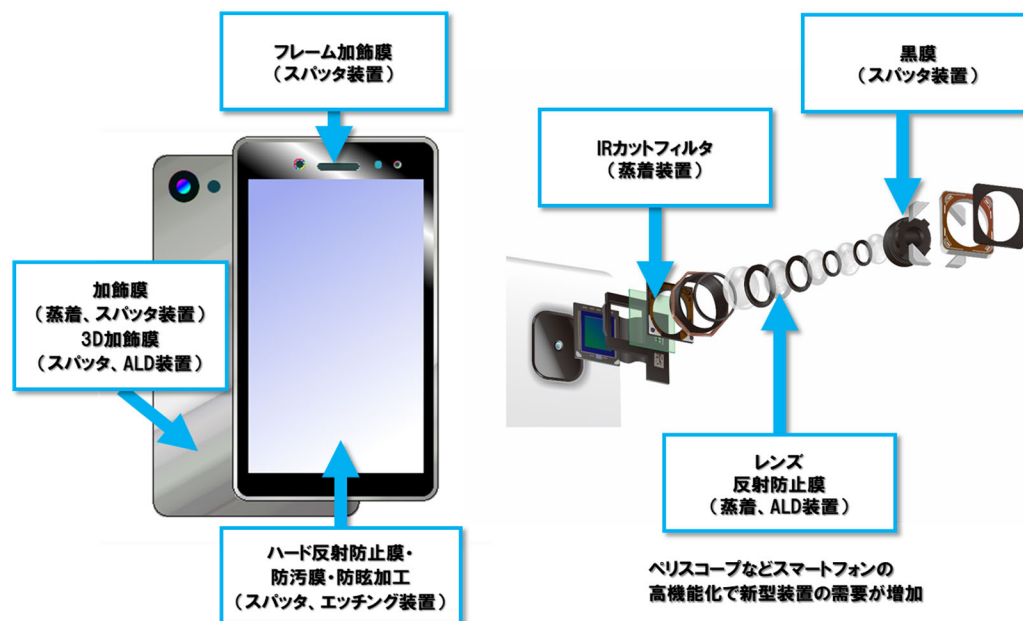
図表11:光学薄膜装置と仕組み

蒸着装置	スパッタリング装置	ALD(原子層堆積)装置
 真空チャンバ 基板 蒸着粒子 電子ビーム 電子銃 るつぼ 蒸着源 反応ガス 排気	 真空チャンバ 基板 Arプラズマ スパッタ粒子 Ar+イオン ターゲット 不活性ガス(Ar) 排気	 真空チャンバ 基板 加熱機構 反応ガス プリカーサー プラズマ 排気
真空中で蒸着材料を熱して蒸発または昇華させ、基板表面に付着させることで薄膜を形成させる装置。風呂場に材料をいれ、真空加熱する様なもの。	真空蒸着における熱の代わりに、ガス分子を薄膜材料にぶつけて薄膜を形成させる装置。スパッタリングの身近な例は古くなった蛍光灯は端が黒い。	原子層レベルで膜厚を制御して平坦で緻密な薄膜を形成する装置。平面基板からアスペクト比(縦横比)の高い立体構造物まで均一に成膜できる。

光学薄膜技術と対応アプリケーション

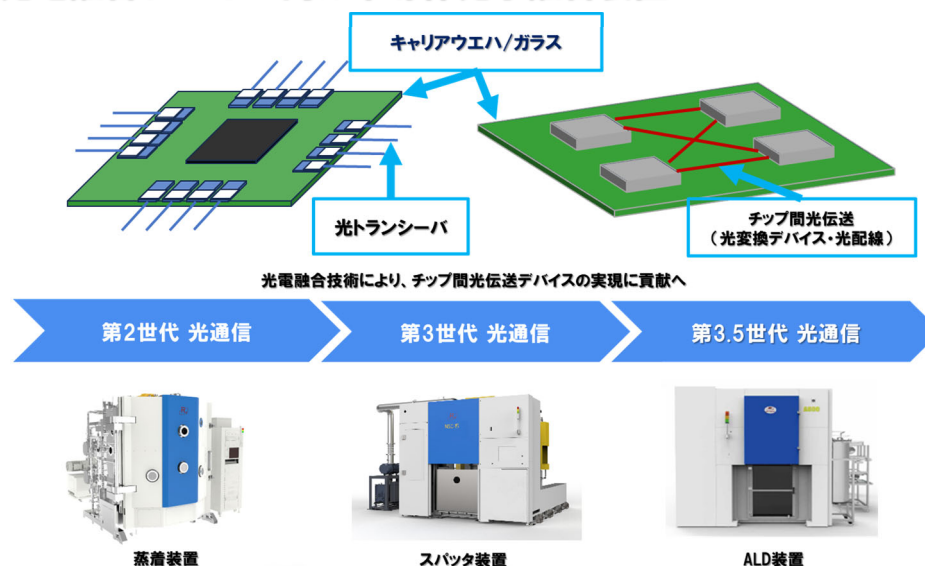
図表12: AIスマートフォン向け光学薄膜装置

EV/コネクテッドカー関連部品向け光学薄膜装置



光電融合デバイス向け半導体光学融合装置

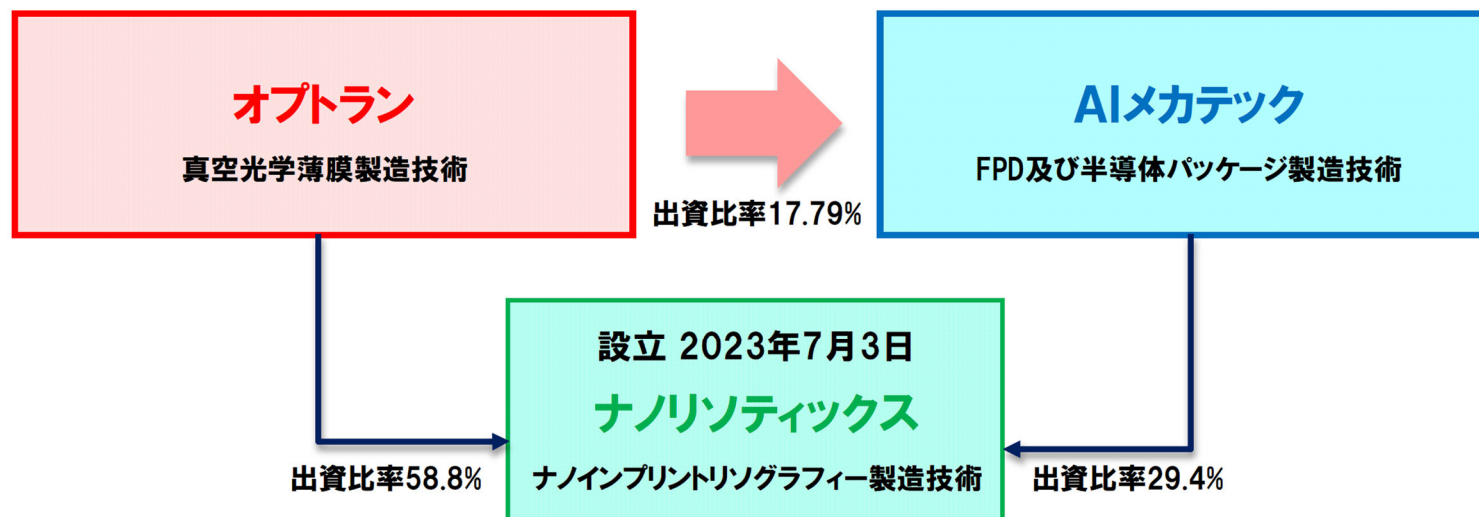
空間コンピュータ向け半導体光学融合装置



AIメカテックとの資本業務提携

図表13: AIメカテックとの資本業務提携

資本業務提携 2025年2月14日



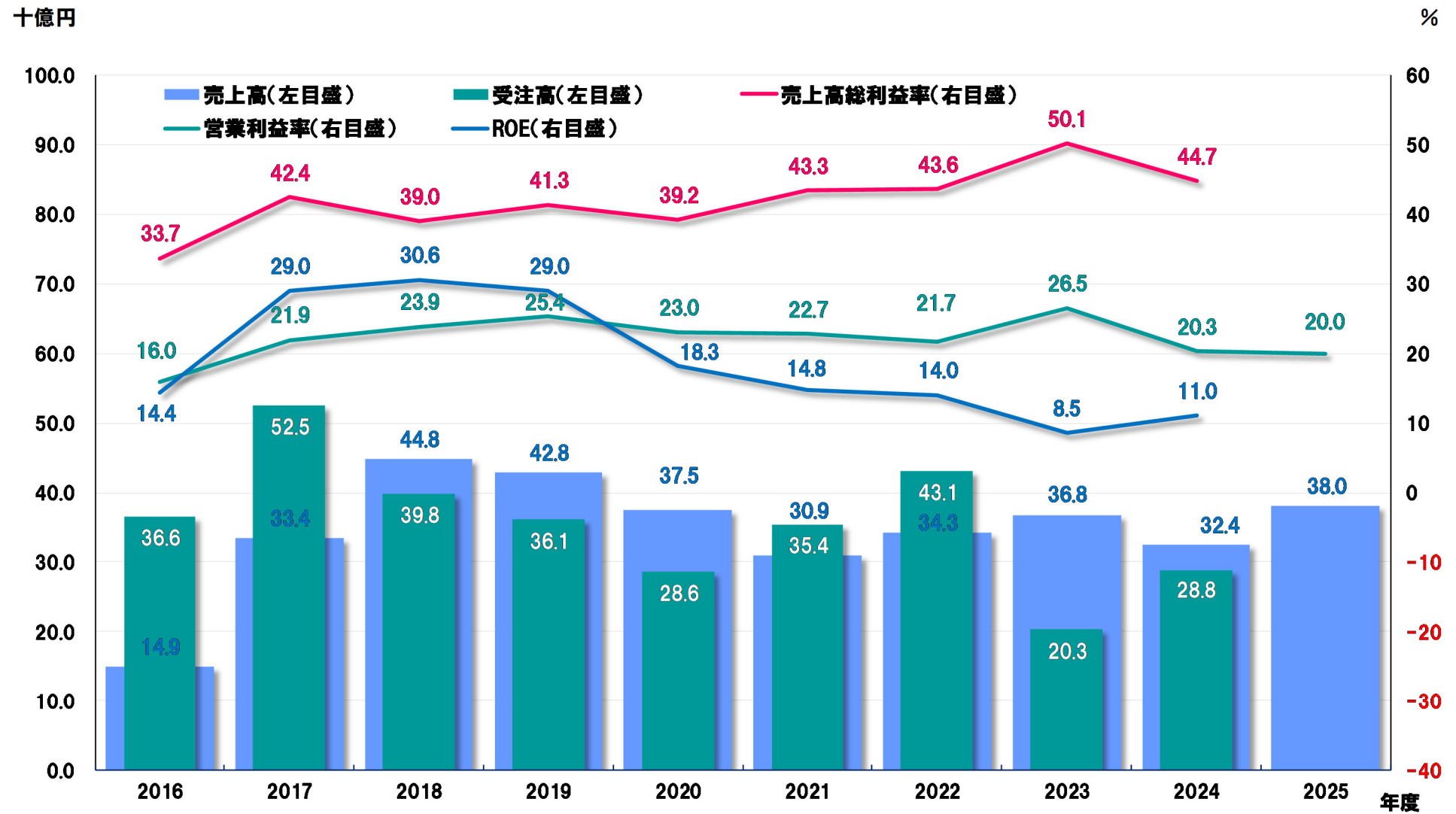
注: ナノリソティックスの表記以外の出資比率はJSR11.8%、オプトランのAIメカテックに対する議決権割合は17.82%

□ 資本業務提携の概要

1. ナノインプリントリソグラフィー事業の強化
 - ・ リソースの共有等による営業・開発体制の強化を通じた、ナノリソティックスにおける合併事業の拡大
2. 技術力の相互補完による協業
 - ・ 両社が有する技術力の相互支援による製品及び事業の強化
3. 技術力の相乗化による協業
 - ・ 両社が有する技術領域や業界情報の共有による新たな事業領域の創出
4. 協業機能の拡大
 - ・ 販売網の相互活用などへの協業範囲拡大

受注高、売上高及び収益性・収益力指標の推移

図表14: 受注高、売上高及び収益性・収益力指標



注: 2025/12期の為替前提は145円/ドル、21.0円/人民元。営業利益感応度(年換算)は1円/ドルの円高で▲1.5億円、0.1円/人民元の円高で+1億円、受注高は23年度以降実質ベース

会社沿革、製品開発、アプリケーション需要と業績

図表15: 会社沿革、製品開発、アプリケーション需要と業績(売上高と営業利益率)

